学校番号	３１３

令和３年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	社会と情報　NEXT（数研出版）						
副教材等	社会と情報　NEXT　サポートノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は教科書と学習ノートを用いつつ、コンピュータを使って与えられた課題を作成していく実技が主となります。さらに課題を用いたプレゼンテーションも行います。
・「情報社会」と呼ばれるこの社会の様々な知識を知り、情報教育の３つの目標である「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」について学習します。
・実技についてはLAN教室でコンピュータを１人１台使い、個人学習だけでなく、グループ学習も行いながら実践力を向上していきます。

２　学習の到達目標

・　情報及び情報技術を活用するための知識と技能を修得する。
・　情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
・　社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
・　社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち,身のまわりの問題を解決するために,自ら進んで情報及び情報技術を活用し,社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため情に,情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて,思考を深め,適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的･基本的な技能を身に付け,目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的･基本的な知識を身に付け,社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	サポートノート及びプレゼンテーションを中心とした課題､授業態度	サポートノート及びプレゼンテーションを中心とした課題､授業態度	・調べ学習や課題製作における取り組み内容	・調べ学習や課題製作における取り組み内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報とメディア	情報の表現形式や ディジタル情報の特徴 インターネットを用いた情報検索	○	○		○	a:・情報の信頼性や情報を検証する方法について関心をもち，積極的に情報を検証しようとしている。 b:情報の価値や信頼性，情報を検証する方法について考え，判断し，その結果を適切に表現している。 c:情報を適切に収集，処理，表現するための技能を身に付けている。 d:様々な情報の分析方法を理解し，情報を分析して発信者の意図を理解できる。	学習ノート 課題 プレゼンテーション等
	情報社会と情報モラル	情報社会が人に及ぼす影響 インターネットの活用 ネットトラブル 情報セキュリティ 知的財産権	○			○	a:・個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち，個人の責任を果たそうとしている b:・ディジタル化された情報の正しい利用方法，コミュニケーションの特徴を理解している。 c:情報化の光と影について理解し，具体例を示すことができる。 d:様々な法律の意義や内容について理解している	学習ノート 課題 プレゼンテーション等
	ディジタル情報と情報の活用	ディジタル情報の表し方 ディジタル表現 プレゼンテーション	○		○	○	a:情報を発信することや情報伝達のメディアに関心をもち，情報を適切に発信しようとしている b:情報発信の目的に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。 c:プレゼンテーションソフトウェアを活用するための技能を身に付けている。 d:プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。	学習ノート 課題 プレゼンテーション等

後期	情報通信ネットワーク	通信とその発達 インターネットのしくみ	○	○		○	a:・インターネットのしくみについて関心をもっている b:LANやインターネットなどのコンピュータによる通信の発達とその影響について考えている。。 c: URL を入力したり，ブックマーク機能を利用したりして，ウェブブラウザを利用することができる。 d:コンピュータによる通信の進展や，LAN，WAN，インターネットなどに関する知識を身に付けている。	学習ノート 課題 プレゼンテーション等
	望ましい情報社会の構築	情報社会における問題解決 情報システム	○	○		○	a:身のまわりで使われているコンピュータや情報システムに関心をもっている。 b:問題解決のプロセスについて考え，その結果を適切に表現している。 c:問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。 d:身のまわりでコンピュータや情報システムがどのように利用されているか理解している。	学習ノート 課題 プレゼンテーション等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。